

第8回 野津原中学校校区適正配置地域協議会 会議要旨

日時：平成 27 年 7 月 23 日（木） 19:00～20:35

場所：野津原市民センター大会議室

○出席者 24 名、欠席者 6 名

I 開会のことば

・秦副会長から開会のことば。

II 会長あいさつ

・分藤会長から開催にあたってのあいさつ。

III 議事

1 第7回地域協議会で残された課題について

(1) 野津原地域における児童育成クラブの方針等について

・児童育成クラブに関する担当課の基本的な考え方や方針などを事務局から説明。

<主な質疑応答・意見>

【委員】統合後に、児童育成クラブを利用したいというニーズが増えて施設整備が必要になった場合に担当課が対応するというのであれば問題ない。

【会長】現在、児童育成クラブがある東部校区と中部校区だけでなく、新たに西部校区からもニーズが出てくる可能性がある。

【専門委員】条例で面積基準が定められているので、児童育成クラブの児童が増えて施設整備が必要になった場合は担当課が実情に合った対応をする。

(2) 碩田中学校区のパンフレットについて

・地域の方々に統合に関するお知らせをする方法について、碩田中学校区の例を挙げながら事務局から説明。

<主な質疑応答・意見>

【委員】協議会の思いをパンフレットに反映させたいので、作成に当たっては委員も参加することはできるか。

【専門委員】パンフレットの中に協議会の思いなどを記載したコーナーを設けたり、協議会と事務局が一緒に作ったりすることなども相談させていただきたい。

【委員】パンフレットは碩田中学校区と同じような時期に配布するのか。

【事務局】パンフレットは実施計画の内容をみなさんに説明するための資料である。実施計画を今年度中に作成し、その後パンフレットを作成するので配布時期は3月以降になると思う。

【委員】統合のことを子どもたちにどのような形でお知らせするのか。また、いつのタイミングでお知らせするのか。

【専門委員】子どもたちにお知らせをするのはどのタイミングが良いか一番分かっている学校から時期を見て説明していただきたい。説明の際にはパンフレットを使って構わないし、もう少し分かりやすいものを学校で独自に作っても構わない。

2 野津原地区全体の学校教育について

(1) 協議

<主な質疑応答・意見>

【委員】適正配置に関する思いや要望事項を出してもらうためにアンケートを配布し、現在、集約しているところだ。次回の協議会までにはまとめることができると思う。

【事務局】この議題は野津原の小学生が中学校に上がる時に、他の校区の中学校に行く人が多いといった現状があるのでみなさんで考えましょうということが出たものである。保護者、地域、行政が協議を通して解決策を見つけて行ければよいと考えている。

【専門委員】小学校の段階でみんなが仲良くなって一緒に中学校に行こうという思いが共有できるよう、今から統合に向けて何ができるかといった観点から意見をいただきたい。

【会長】各校区でアンケートなどを集約し、8/17までに事務局に用紙で提出していただきたい。

○野津原地区全体の学校教育に関する意見については、アンケートなどを集約し事務局へ提出することとし、その上で協議を継続して、第9回地域協議会で意見をまとめることを確認した。

3 統合の時期・方法について

(1) 統合の時期

・統合の時期は平成29年もしくは平成30年の方向で協議していることを事務局から説明。

(2) 統合の方法

・西部小学校と中部小学校が統合した後に東部小学校と統合するといったように段階的に統合した方がよいという意見や、一斉に3小学校が統合した方がよいという意見があることを事務局から説明。

(3) 協議

<主な質疑応答・意見>

【委員】閉校に係る実行委員会を校区ごとに進めながら、別の組織である統合準備委員会も同時に進行するとなると委員の負担が大きくなるので平成29年に統合するのは厳しいと思う。

【委員】委員の負担よりも子どもたちのことを考えることが重要だと思う。複式学級のある学校のことを考えると、早く複式学級を解消するために平成 29 年に統合した方が良いと思う。

【委員】「統合に当たって子どもの心のケアが必要ではないか」「学校がなくなれば地域とのかかわりが少なくなるのではないか」「校舎等の施設整備が必要になるのではないか」といった不安がある。そういった不安を解消するために環境を整備してから統合した方が良いと思うので、統合は平成 33 年でも平成 35 年でも良いと思う。

【事務局】統合の時期に関しては、今まで平成 29 年か平成 30 年という方向で協議を進めてきた。これまでの協議経過を踏まえて、協議会として意見をまとめなければならぬ。

【会長】この協議会で話し合っただけで決めたことについては話の後戻りはしないという約束になっている。

【委員】子どもの将来を考えるとであれば早く統合して子どもを大人数の中で色々学ばせた方が良いと思う。統合を 1、2 年先延ばしにしても子どもたちが迷うだけだ。統合の時期を早く決めてスピード感を持って話を進めるべきだ。

【副会長】今は平成 29 年なのか平成 30 年なのかどちらかに決める時期だ。統合に向けて、今後どのような委員会が組織されるのか、どのくらいの期間がかかるのか、どのような協議が必要なのかといったことに関して、次回の協議会で事務局から説明を聞き、私達委員がそれに対応できるかといった協議ができれば良いと思う。

【会長】統合の時期については引き続き協議し、次回の協議会で意見をまとめることとする。

○統合の時期については引き続き協議し、第 9 回地域協議会で意見をまとめることを確認した。

4 その他

- ・地域協議会の次回の日程について事務局から説明。
- ・これまでの協議をもとに、地域協議会の要望事項として考えられるものを事務局から説明。

○第 9 回地域協議会を 8 月 27 日（木）の 19:00～20:30、野津原市民センター大会議室で開催することを確認した。

IV 閉会のことば

- ・佐藤副会長から閉会のことば。